

勅祭社宮司拝謁

七月十二日、神宮大宮司と勅祭社宮司が拝謁の栄に浴した。
 当日は午前十時から赤坂御所「檜の間」にて拝謁を賜り、天皇陛下より平素の神明奉仕に対するねぎらいのお言葉を賜った。

【勅祭社】 天皇陛下より勅使の御差遣があり、祭祀奉幣を賜る神社。靖國神社のほか、賀茂別雷神社（上賀茂神社）、賀茂御祖神社（下鴨神社）など全国に十六社ある。

「令和元年度大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭」執行

七月六日、公益財団法人大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会主催の慰霊祭が関係者など百五十名参列のもと、拜殿にて執り行われた。

祭典は、国歌斉唱に始まり、修祓・献饌・祝詞奏上に続き、同協議会島村宜伸会長が祭文を奏上。世田谷男声カルテット「ガバーガバ」により「芭蕉布」「はるかな友に」を奉唱後、参列者一同が本殿へ進み拝礼した。

グアム鎮魂社例祭執行

去る七月六日、太平洋マリアナ諸島のグアム島アサン村アテラップにおいて、グアム鎮魂社例祭が行われ、靖國神社より松本禰宜、山本宮掌が出向し奉仕を行った。

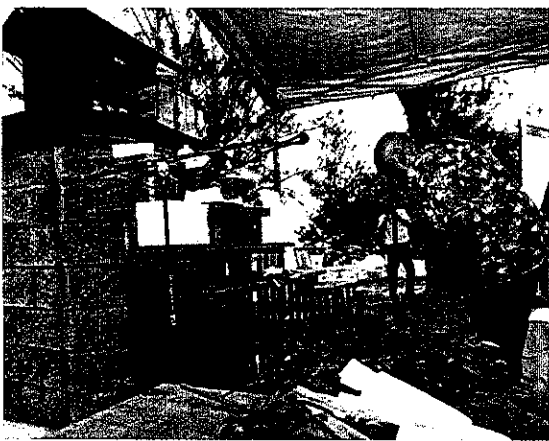
グアム鎮魂社は、有志団体「戦争を風化させない会」(高市早苗会長)が中心となり、現地住民やグアム政府関係者の協力のもと、平成二十八年に同島中部アサンのグアム政府知事庁舎公園内に建立した神社で、大



グアム鎮魂社前にて集合写真

東亜戦争においてグアム島をはじめ太平洋諸島で戦歿した日米両国と周辺諸島の人々の御霊がお祀りされている。靖國神社では、同二十五年から同会主催の慰霊祭を現地で奉仕しており、今回で七回目となる。

当日は祭典に先立ち同会シーン・カマチヨ副代表が開式の辞を述べ、参列者全員で黙祷を捧げた後、日米両国歌とグアム島歌を斉唱した。次に修祓、献饌に続き斎主の松本禰宜が祝詞を奏上。三田徳明雅楽研究会による舞楽「蘭陵王」が奉納された。続いて芳賀健介代表をはじめ「戦争を風化させない会」関係者、遺族、グアム政府関係者等十名の玉串拝



玉串拝礼をする現地関係者

礼、同研究会による「海ゆかば」の

演奏に続き、参列者全員が白菊を献花して、滞り無く執り収められた。同日午後には同島南部メリソン村にて仏教式による地元民戦没犠牲者慰霊法要が執り行われ、関係者一同が参列、焼香した。
 祭典当日は南国特有の強い日差しが降り注ぐ中、関係者らが国境を越えて戦歿者の御霊に真心籠る祈りを捧げていた。

慰霊祭予定

靖國
第七六九号
追加

9月15日(日) 11時

令和元年特定非営利活動法人

零戦の会慰霊祭

9月15日(日) 12時

朝鮮羅南歩兵第七十六聯隊

同改編部隊慰霊祭

*お問い合わせは靖國神社社務所
 (03・3261・8326)

までお願いします。